

2. 下の略年表を見て、次の各問いに答えなさい。

1709年	(1) の治	ア
1858年	(2) 条約締結	イ
1902年	(3) 同盟	ウ
1925年	(4) 法制定	エ
1956年	(5) に加盟	オ

問1 略年表中のアは、新井白石が中心となって取り組んだ政治のことである。(1)にあてはまる語句を漢字2字で答えなさい。

問2 略年表中のアについて、取り組んだ内容として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、マークしなさい。

- ① 目安箱の設置をした。
- ② 株仲間の解散をした。
- ③ 朱子学以外の学問を教えることを禁止した。
- ④ 金銀の海外流出を防ぐために長崎での貿易額を制限した。

問3 略年表中のイについて、アメリカと締結した条約として、(2)にあてはまる語句を漢字6字で答えなさい。

問4 略年表中のイの条約の説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、マークしなさい。

- ① 大老井伊直弼が天皇の許可を得て締結をした。
- ② 大老井伊直弼が天皇の許可なしで締結をした。
- ③ この条約は日本に関税自主権があり、アメリカの領事裁判権を認めた。
- ④ この条約は日本に関税自主権がなく、アメリカの領事裁判権を認めなかった。

問5 略年表中のイの時代に、インドを直接支配下に置いた国を、次の①～④のうちから一つ選び、マークしなさい。

- ① フランス
- ② オランダ
- ③ イギリス
- ④ スペイン

問6 略年表中のウについて、日本は(3)同盟を理由に第1次世界大戦に参戦をした。(3)にあてはまる語句を漢字2字で答えなさい。

問7 略年表中の(3)同盟について、この同盟が締結された時期のできごとを、年代順に並べたとき、正しい順番になっているものを、次の①～④のうちから一つ選び、マークしなさい。

- ① 下関条約→ポーツマス条約→(3)同盟→韓国併合
- ② 下関条約→韓国併合→(3)同盟→ポーツマス条約
- ③ 下関条約→(3)同盟→韓国併合→ポーツマス条約
- ④ 下関条約→(3)同盟→ポーツマス条約→韓国併合

問8 略年表中のエについて、社会主義運動の活発化を取りしめることを目的とした法が制定された。(4)にあてはまる語句を漢字4字で答えなさい。

問9 略年表中のエについて、この年には普通選挙法が公布されたが、その内容として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、マークしなさい。

- ① 納税額の制限を廃止し、満20歳以上の男子に選挙権を認めた。
- ② 納税額の制限を廃止し、満20歳以上の男女に選挙権を認めた。
- ③ 納税額の制限を廃止し、満25歳以上の男子に選挙権を認めた。
- ④ 納税額の制限を廃止し、満25歳以上の男女に選挙権を認めた。

問10 略年表中のオについて、日本はソ連と共同宣言を調印し、国交が回復、同年(5)に加盟し、国際社会に復帰した。(5)にあてはまる語句を漢字4字で答えなさい。

問11 略年表中のオについて、この時の内閣総理大臣として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、マークしなさい。

- ① 田中角栄
- ② 佐藤栄作
- ③ 鳩山一郎
- ④ 吉田茂